

だい 14 課 なんか

き  
気になること

どうしてかなあ。理由りゆうはよく分わからないけど／うまく説明せつめいできないけど

1. どんな「なんか」がある??

①初級しょきゅうで勉強べんきょうした「なにか」 Anything, something

(『げんき I』第8課だい 8 かい 第2版だい 2 はん、『みんなの日本語 初級 I』第13課だい 13 かい 第2版だい 2 はん)

じっさい かいわ  
実際の会話では「なんかつか作つくりましたか」「なんかの飲のみたいですね」「なんかの飲のみませんか。」  
のように使つかわれている。

かいわぶん  
会話文 なんかもへん変へんなことして

②フィラー「なんか」

・・・話はなし始はじめや話はなしの間あいだで聞きかれる「あの~」「まあ」「えーっと・・・」のようなもの。  
特とくに意い味みはない。

かいわぶん  
会話文 先輩せんぱい、お疲つかれさまです！なんかうんてん、運うんてん転てんしているとき、・・・

③中級ちゅうきゅう文法ぶんぽうの本ほんに出でてくる「なんか」 = 「など」「なんて」「でも」

1. 例

かいわぶん  
会話文 夜よるとか雨あめの日ひなんか、運うんてん転てん怖こわいでしょ？

よる あめ ひ 夜とか雨の日のような外そとが暗くらい日は、運うんてん転てん怖こわいでしょ？

2. ~のような／みたいな { 小ちいさいこと・良よくないこと・変へんなこと・どうでもいいこと }

かいわぶん  
会話文 目めなんか (大だい丈じょう夫ぶだ) って言いえないよ。大だい事じにしてね。

め 目めのような小ちいさいこと (大だい丈じょう夫ぶだ) って言いえないよ。

れい  
例) あなたなんかきら嫌きらい。日にほんご本ほん語ごなんかかんたん簡かん単たんです。

3. 提案するときに使う

A: 今日一緒に出かけませんか。 B: いいですね!

A: 映画なんか (など、なんて・でも) どうですか。

B: じゃあ、映画の後、何か食べませんか。

A: いいですね! じゃあ、ハンバーガーなんか (など・なんて・でも) どうですか。

4. 関西で使われる「なん?」「なんか?」「なんかな?」

あの人、スペイン人なんかな? (スペイン人なのかな?)

あそこがこの前田中さんが話していた店なんかな? (店なのかな?)

2. なんか・なんだか = 「理由をはっきりしないが」「はっきりどうしてかわからないが<sup>1</sup>」

意味「どうしてかなあ。理由はよく分からないけど/うまく説明できないけど」

1) 感じること

a. 短い文 なんか+感じること

例「なんか眠い」

さっき起きたばかりなのに、どうしてかなあ。よく分からないけど、眠い。

⇒さっき起きたばかりなのに、なんか眠い。

〈練習1〉「なんか」を使って言きましょう。

①パンダの顔って、どうしてかなあ。うまく説明できないけど、嫌い。

②この曲、どうしてかなあ。うまく説明できないけど、好き。

③急に下の名前ですんでくる人、どうしてかなあ。よく分からないけど、苦手。

④どうしてかなあ。理由がよく分からないけど、お腹が痛い。

⑤ホットココアを飲むと、どうしてかなあ。

うまく説明できないけど、ほっとする (安心する)。

<sup>1</sup> 小山恵美子ほか、『くらべておぼえる副詞 (初・中級)』11版, 専門教育出版, 2015, p.88

かいどうれい  
〈解答例〉 ①なんか<sup>きら</sup>嫌い。②なんか<sup>す</sup>好き。③なんか<sup>にがて</sup>苦手。④なんかお腹<sup>なか</sup>がいたい。⑤なんかほっとする。

b. ながいぶん なんか+「感じる」「思う」という意味のことば

感じる、思う、気がする、感じ<sup>かん</sup>がする、気<sup>き</sup>がする、気<sup>き</sup>になる、  
~そうだ、~っぽい、~みたい、~らしい、~かもしれない、  
~ように見える、~ように聞こえる など

かいわぶん  
会話文

な〜んか<sup>まわ</sup>周りが見えづ<sup>み</sup>らいなあと<sup>おも</sup>思って、  
それに、なんか<sup>まえ</sup>前より<sup>くび</sup>首を<sup>さゆう</sup>こう左右に<sup>うご</sup>動かしている<sup>き</sup>気がして、  
なんか<sup>め</sup>目も<sup>つか</sup>疲れている<sup>かん</sup>感じがするんです。

れんしゅう  
〈練習2〉 「なんか」を使って言ひましよう。

「なんか」と言うときに<sup>くび</sup>首を<sup>よこ</sup>横に<sup>うご</sup>動かしてみてくださいね。

れい  
例) どうしてかなあ。うまく<sup>せつめい</sup>説明できないけど、

<sup>だれ</sup>誰かが<sup>み</sup>ずっとわたしを<sup>き</sup>見ている気がする。

⇒なんか<sup>だれ</sup>誰かが<sup>み</sup>ずっとわたしを<sup>き</sup>見ている気がする。

①寝<sup>ね</sup>ているときに、どうしてかなあ、よく<sup>わ</sup>分からないけど、

<sup>だれ</sup>誰かに<sup>くび</sup>首を<sup>し</sup>絞められた<sup>き</sup>気がする。

②この床<sup>ゆか</sup>の<sup>しみ</sup>しみが、どうしてかなあ。よく<sup>わ</sup>分からないけど、<sup>き</sup>気になる。

③どうしてかなあ。うまく<sup>せつめい</sup>説明できないけど、<sup>へ</sup>部屋<sup>や</sup>にお<sup>ば</sup>化け<sup>い</sup>がいそうです。

④どうしてかなあ。よく<sup>わ</sup>分からないけど、

あのおばさん、わたしの<sup>す</sup>トーカー<sup>っぽい</sup>っぽい。

⑤あのおばさん、どうしてかなあ。よく<sup>わ</sup>分からないけど、

いつもわたしの<sup>ちか</sup>近く<sup>にいる</sup>に<sup>みたい</sup>みたい。

⑥どうしてかなあ。よく<sup>わ</sup>分からないけど、あのおばさん、

<sup>わたし</sup>私の<sup>ひ</sup>引<sup>こ</sup>越<sup>し</sup>先<sup>も</sup>も<sup>し</sup>知<sup>っ</sup>ているらしい。

⑦あのおばさん、どうしてかなあ。うまく<sup>せつめい</sup>説明できないけど、

ちよっと<sup>あぶ</sup>危<sup>ひ</sup>ない人<sup>も</sup>も<sup>し</sup>かもしれない。

かいとうれい  
〈解答例〉

- ①寝ているときに、なんか誰かに首を絞められた気がする。
- ②この床のしみが、なんか気になる。 ③なんか部屋にお化けがいそうです。
- ④なんかあのおばさん、わたしのストーカーっぽい。
- ⑤あのおばさん、なんかいつもわたしの近くにいるみたい。
- ⑥なんかあのおばさん、わたしの引越し先も知っているらしい。
- ⑦あのおばさん、なんかちょっと危ない人かもしれない。

◎「なんか」はセンサー (sensor) レベルで感じることも使えることば。

⇒気になることを話すのに使える。

2) なんか~てしまう

「なんか／なんだか」

=どうしてかなあ。理由はよく分からないけど／うまく説明できないけど、

+「~てしまう」=そのつもりはないけど／なかったけど~する／した

=そのつもりがあるけど／あったけど、~しない／しなかった

例) 買ってしまう。ソファで寝てしまった。この服、買っちゃった。

◎自分の行動の中で全く理由を説明できないものに対して使うと良い。

例 1) 最近、なんかヤクザ映画ばかり見てしまう。

最近、どうしてかなあ。理由は説明できないけど、

ヤクザ映画を見るつもりはないのに、ヤクザ映画ばかり見ている。

〈練習3〉「なんか~てしまう」を使って、文を作りましょう。

①どうしてかなあ。理由を説明できないけど、この店に来ると、ハンバーグを頼むつもりはないのに、いつもハンバーグばかり頼む。

②あの人のこと好きなわけじゃないけど、  
どうしてかなあ。理由を説明できないけど、  
あの人がいると、見るつもりはないのに、見る。

③ どうしてかなあ。理由を説明できないけど、

毎晩夜中の2時になると、起きるつもりはないのに、目が覚める。

〈解答例〉① なんかこの店にくると、いつもハンバーグばかり頼んでしまう。

② あの人のこと好きなわけじゃないけど、なんかあの人がいると、見てしまう。

③ なんか毎晩夜中の2時になると、目が覚めてしまう。

### 3. まとめ

① 「理由はよく分からないけど／うまく説明できないけど」という意味

なんか+感じること、「感じる」という意味を持つことば

⇒ 気になることを話すのに使える！

② 文型「なんか～てしまう」

自分の行動で全く理由を説明できないものを伝えることができる。

4. 会話

ことば

視界	〈名詞〉	目で見える (左右、上下、前後などの) 範囲
セルフチェック	〈名詞/する〉	自分でチェックすること。Self check。
連絡先	〈名詞〉	連絡するところ。 例) 連絡先を教える。連絡先が書いてある。
進展	〈名詞/する〉	物事が前に進んで新しい大きな変化があること。 例) 技術の進展。関係の進展。物語の進展。〇〇化の進展。
後片付け	〈名詞/する〉	何かをした後、何かが終わった後の片付け。
食器	〈名詞〉	食べるために使う道具。皿や茶わん、コップ、はし、など。
洗剤	〈名詞〉	服や食器やトイレなどを洗ってきれいにするために使う石けんなどのこと。
判断	〈名詞/する〉	色々な情報から「良い」や「悪い」、「本当」か「嘘」か、「何をするべきか」などのような自分の考えを決めること。
スポンジ	〈名詞〉	sponge。掃除や化粧に使われる。
こする	〈動詞〉	Sが(なに)をこする。物を他の物に強く当てて動かす。 例) かゆくても、目はこすらないほうがいい。
永遠	〈名詞〉	いつまでも終わりがなく、続くこと。

ことばを 確認してみよう!

意味を考えながら、1) ~ 3) の文を読んで、習ったことばに線を引きましょう。

- 1) お風呂を洗うときもスポンジに洗剤をつけて、汚れをこすって、お湯でよく流してね。
- 2) 佳織ちゃんと巧くんは永遠に友だちのままかと思っていたけど、  
バレンタインの日に進展があって、二人は付き合うことになった。

会話文のこれ、意味が解りますか

それどころか・・・先に言ったことより、レベルの大きいことを言う前に使う。

私と彼の関係に進展はない。< この人、無理かとも思った。

例) この本を読めば、漢字を勉強するのが苦しくなくなるかもしれない。

それどころか、「漢字が好き!」って言うようになるかも。

永遠に!・・・うんざりするくらい、長い時間ずっと!

